

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	訪問型子育て支援事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ながの子ども城いきいきプロジェクト
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,086,198 円 (うち支援金 : 567,000 円)

事業内容

子育てひろば等に出てこられない親子、身近に子育ての不安や悩みを話せる人がいない等、未就学児が1人でもいる家庭に研修を受けた地域の子育て経験者が訪問する「家庭訪問型子育て支援ボランティア」ホームスタートを用いて子育て支援を行った。

子育てに関する不安や悩みを一人で抱え込まないよう、週に一度、2時間程度、定期的な訪問し、親の話に耳を傾けながら(傾聴)、育児や家事を一緒に行い(協働)、孤独感や孤立感の軽減、コミュニケーションや育児スキルの向上、親の自信の回復、子育ての楽しさを実感し地域とつながるきっかけをつくった。



【訪問活動】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

アセスメントで得た事業のニーズから、具体的なゴールの設定をし、モニタリングで充足度の評価を行い、目標充足度と比較した。

- 1 親の孤立感の解消 実績 100% 対目標比 15%増
- 2 親自身の心の安定 実績 90% 対目標 5%増
- 3 自尊感情や自己肯定感 実績 88% 対目標比 8%増
- 4 子どもの心の健康 実績 94% 対目標比 9%増
- 5 子どもの成長・発達を促す機会をつくる 実績 85%対目標比 0%
- 6 子育てサービスの利用法を知る 実績 88% 対目標比 8%増

利用者の多くは、子育ての中で孤立を感じていたが、ビジターが訪問し傾聴・協働することにより孤立感を解消し、心の安定と健康を取り戻した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

訪問型子育て支援事業を平成28年度のこども広場じゃん・けん・ぼん事業への導入について、長野市保育・幼稚園課等に活動の成果を提示しながら要望してきた。その結果、新規事業として予算化され、長野市が行う子育て支援事業妊娠出産包括支援(長野版ネウボラ)事業と連携を図り、こども広場じゃん・けん・ぼん事業として継続していく。

【目標・ねらい】

- ①親の孤立感の解消
- ②親自身の心の安定
- ③自尊感情や自己肯定感
- ④子どもの心の健康
- ⑤子どもの成長・発達を促す機会をつくる
- ⑥子育てサービスの利用法を知る

※自己評価 【 B 】

【理由】
利用者からの申し込みよって訪問活動が実施されるため、予定より訪問件数は少なかったが、訪問した家庭からの満足度は高かった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある